

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公表番号】特表2005-532359(P2005-532359A)

【公表日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-511289(P2004-511289)

【国際特許分類】

C 0 7 D 333/68 (2006.01)
A 6 1 K 31/381 (2006.01)
A 6 1 P 1/04 (2006.01)
A 6 1 P 3/10 (2006.01)
A 6 1 P 9/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/10 (2006.01)
A 6 1 P 11/00 (2006.01)
A 6 1 P 11/06 (2006.01)
A 6 1 P 17/00 (2006.01)
A 6 1 P 17/06 (2006.01)
A 6 1 P 19/02 (2006.01)
A 6 1 P 19/04 (2006.01)
A 6 1 P 19/10 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/28 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 31/12 (2006.01)
A 6 1 P 31/18 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 37/04 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 333/68 C S P
A 6 1 K 31/381
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 19/04
A 6 1 P 19/10
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月29日(2006.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

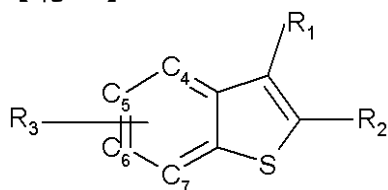
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)：

【化1】



(I)

[式中：

R₁ は CONH₂ であり；R₂ は NR₄R₅ であり；

R₃ は、H、CN、CF₃、ハロゲン、アリール、ヘテロアリール、アルキル、O-アルキルおよびS-アルキルからなる群から選択され；C₄、C₅、C₆またはC₇のいずれかに結合することができ；

R₄ はHまたはアルキルであり；

R₅ は、H、CO-アルキル、SO₂-アルキル、CONH₂、CONH-アルキル、CONH-アリール、CONH-ヘテロアリール、CSNH₂、CSNH-アルキル、CSNH-アリール、CSNH-ヘテロアリール、SO₂NH₂、SO₂NH-アルキル、SO₂NH-アリールおよびSO₂NH-ヘテロアリールからなる群から選択される]

で示される化合物またはその医薬上許容される塩。

【請求項2】

化合物が：

2-アミノ-6-(4-フルオロ-フェニル)-ベンゾ[b]チオフェン-3-ジカルボン酸アミド；および

2-ウレイド-ベンゾ[b]チオフェン-3-ジカルボン酸アミドからなる群から選択される、請求項1記載の化合物。